

大仙市下水道事業 業務狀況報告書

自 令和 7年10月 1日
至 令和 8年 3月31日

大仙市上下水道局経営管理課

目 次

1 業 務 の 概 況	—————	1
2 経 理 の 状 況	—————	2
3 新事業年度の予算概要と経営方針	—————	8

1. 事業の概況

(1) 業務の概要

ア. 事業概要

令和7年度末の処理区域内人口は50,211人で、前年度末に比べ1,130人減少している。これにより、行政区域内人口71,752人に対する下水道普及率は70.0%となっている。水洗化人口は37,248人で、前年度末に比べ688人減少している。処理区域内人口50,211人に対する水洗化率は74.2%となっている。

年間汚水処理水量は4,779,577m³で前年度末に比べ124,088m³増加した。また、年間有収水量は4,092,700m³で前年度末に比べ89,073m³増加した。

イ. 経営状況

令和7年度の経営状況について、営業収益は下水道使用料の増加により679,988,487円（前年度比4.8%増）、営業費用は給与費や委託料の増加により2,463,495,911円（前年度比0.3%増）、営業損失は1,783,506,964円（前年度比1.3%減）となっている。

営業外収益は一般会計補助金及び長期前受金戻入の減少により2,556,046,598円（前年度比4.1%減）、営業外費用は企業債支払利息等の減少により246,567,285円（前年度比4.9%減）、営業損失に営業外利益を加えた経常利益については、525,972,349円（前年度比12.1%減）となっている。

特別損失は過年度損益修正損が498,932円（前年度比68.5%減）となっており、経常利益に特別損益を加えた当年度純利益は、525,473,417円（前年度比12.0%減）となっている。

なお、本年度下半期の排水処理状況は次のとおりとなった。

事 項	下 半 期	上 半 期	決 算
接 続 戸 数 (戸)	16,340	16,462	16,340
総 処 理 水 量 (m ³)	2,410,855	2,368,722	4,779,577
有 収 水 量 (m ³)	2,039,526	2,053,174	4,092,700

(2) 工事に関する事項

(ア) 農業集落排水施設の流域下水道接続事業

本事業は、処理施設の老朽化に伴う維持管理の負担を減少させることを目的としている。本年度は中仙地域（田ノ尻・中荒井処理区）の農業集落排水施設の流域下水道への接続工事を実施した。

(イ) 農業集落排水機能強化事業（処理区統廃合）

本事業は、持続的な農業集落排水の機能を確保するため施設の統廃合を行うものである。本年度は、協和地域の水沢地区と稲沢地区の統合に向けた管路施設等改修工事、太田地域の横沢地区と大町地区の統合に向けた実施設計・測量業務委託を実施した。

2. 経理の状況

(1) 予算執行状況

イ. 収益的収入及び支出

(単位：円)

区 分	予算	下半期	上半期	決算	備考
収 入	3,328,917,000	2,036,159,677	1,290,067,709	3,326,227,386	
支 出	2,813,436,000	2,263,928,952	511,922,803	2,775,851,755	

ロ. 資本的収入及び支出

(単位：円)

区 分	予算	下半期	上半期	決算	備考
収 入	1,625,538,000	1,022,409,120	440,501,220	1,462,910,340	
支 出	2,418,397,000	1,044,016,028	1,291,540,031	2,335,556,059	

ハ. 貯蔵品支出

(単位：円)

区 分	予算	下半期	上半期	決算	備考
支 出	3,613,000	47,740	2,188,560	2,236,300	

(2) ー1 損益計算書 (下半期)

(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

	円	円	円
1. 営業収益			
(1) 下水道使用料	334,021,407		
(2) その他営業収益	<u>437,721</u>	334,459,128	
2. 営業費用			
(1) 管渠費	55,774,406		
(2) 処理場費	87,984,234		
(3) 業務費	45,929,200		
(4) 総係費	36,941,047		
(5) 流域下水道維持管理負担金	36,941,047		
(6) 減価償却費	787,714,337		
(7) 資産減耗費	22,935,533		
(8) その他営業費用	<u>0</u>	<u>1,074,219,804</u>	
営業利益			△ 739,760,676
3. 営業外収益			
(1) 他会計補助金	388,162,000		
(2) 長期前受金戻入	582,952,023		
(3) 雑収益	837,952		
(4) 補償金	<u>29,176,340</u>	1,001,128,315	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸	119,549,840		
(2) 繰延勘定償却	0		
(3) 雑支出	<u>280,793</u>	<u>119,830,633</u>	<u>881,297,682</u>
経常利益			141,537,006
5. 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>0</u>	0	
6. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>373,164</u>	<u>373,164</u>	<u>△ 373,164</u>
当期純利益			141,163,842

(2) — 2 損益計算書 (令和7年度決算)

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

	円	円	円
1. 営業収益			
(1) 下水道使用料	678,609,194		
(2) その他営業収益	<u>1,379,753</u>	679,988,947	
2. 営業費用			
(1) 管渠費	135,564,060		
(2) 処理場費	248,439,712		
(3) 業務費	47,058,500		
(4) 総係費	70,516,354		
(5) 流域下水道維持管理負担金	370,870,915		
(6) 減価償却費	1,568,110,837		
(7) 資産減耗費	22,935,533		
(8) その他営業費用	<u>0</u>	<u>2,463,495,911</u>	
営業利益			△ 1,783,506,964
3. 営業外収益			
(1) 他会計補助金	1,298,162,000		
(2) 長期前受金戻入	1,227,797,023		
(3) 雑収益	911,232		
(4) 補償金	<u>29,176,340</u>	2,556,046,595	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸	246,285,789		
(2) 繰延勘定償却	0		
(3) 雑支出	<u>281,493</u>	<u>246,567,282</u>	<u>2,309,479,313</u>
経常利益			525,972,349
5. 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>0</u>	0	
6. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>498,932</u>	<u>498,932</u>	<u>△ 498,932</u>
当期純利益			525,473,417

(3) 貸借対照表

(令和8年3月31日)

資 産 の 部

	円	円	円	円
1. 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ. 土地		219,606,791		
ロ. 建物	3,771,226,481			
減価償却累計額	<u>△ 807,580,058</u>	2,963,646,423		
ハ. 構築物	45,438,222,746			
減価償却累計額	<u>△ 9,536,485,884</u>	35,901,736,862		
ニ. 機械及び装置	3,237,642,019			
減価償却累計額	<u>△ 1,617,575,253</u>	1,620,066,766		
ホ. 車輛運搬具	0			
減価償却累計額	<u>0</u>	0		
ヘ. 工具器具及び備品	5,750,000			
減価償却累計額	<u>△ 3,105,000</u>	2,645,000		
ト. 建設仮勘定		88,479,461		
チ. その他有形固定資産	4,782,258			
減価償却累計額	<u>△ 638,726</u>	4,143,532		
有形固定資産合計		40,800,324,835		
(2) 無形固定資産				
イ. 施設利用権		2,005,745,133		
ロ. その他無形固定資産		<u>5</u>		
無形固定資産合計		2,005,745,138		
(3) 投資その他資産				
イ. 投資有価証券		<u>2,670,000</u>		
投資その他資産合計		2,670,000		
固定資産合計			42,808,739,973	
2. 流動資産				
(1) 現金預金		748,583,104		
(2) 未収金		154,597,182		
(3) 貯蔵品		<u>328,055</u>		
流動資産合計			903,508,341	
資産合計			<u>43,712,248,314</u>	

負債の部

	円	円	円	円
3. 固定負債				
(1) 企業債			14,982,510,170	
(2) 引当金				
イ. 退職給付引当金		10,500,000		
引当金合計		10,500,000		
固定負債合計				14,993,010,170
4. 流動負債				
(1) 一時借入金			0	
(2) 企業債			1,794,575,566	
(3) 未払金			261,291,338	
(4) 前受金			0	
(5) 引当金				
イ. 賞与引当金		8,193,000		
引当金合計		8,193,000		
(6) その他流動負債			0	
流動負債合計			0	2,064,059,904
5. 繰延収益				
(1) 長期前受金			29,593,097,312	
(2) 長期前受金収益化累計額			△ 10,530,399,598	
繰延収益合計			19,062,697,714	19,062,697,714
負債合計				36,119,767,788

資本の部

	円	円	円	円
6. 資本金				
(1) 資本金			6,963,197,281	
資本金合計			6,963,197,281	6,963,197,281
7. 剰余金				
(1) 資本剰余金				
イ. 受贈財産評価額		998,500		
ロ. 寄附金		0		
ハ. その他資本剰余金		102,811,328		
資本剰余金合計		103,809,828		103,809,828

	円	円	円	円
(2) 利益剰余金				
イ. 減債積立金		0		
ロ. 利益積立金		0		
ハ. 建設改良積立金		0		
ニ. 当年度未処分利益剰余金		525,473,417		
利益剰余金合計		<u>525,473,417</u>	<u>525,473,417</u>	
剰余金合計				<u>629,283,245</u>
資本金合計				<u>7,592,480,526</u>
負債・資本合計				<u><u>43,712,248,314</u></u>

3. 新事業年度の予算概要と経営方針

1 経営方針

【基本理念】

下水道事業は、生活環境の改善と公共用水域の水質保全の観点から、市民が快適な生活を送る上で不可欠なサービスを安定的に供給する重要な役割を担っている。

「秋田県生活排水処理構想(第4期構想)」及び「大仙市汚水処理施設整備構想」をもとに、多様化する生活様式、きれいで・安全・安心な生活環境とまちづくりの構築、高まる地球環境保全の意識といった、グローバルな視点も含んだ社会情勢等の変化を的確に捉え、人口減少や限られた財源の中で投資効果の高い事業を推進し、より良い下水道運営を目指すために、基本理念を「安全で安心な下水道サービスの持続的な安定供給」とし、基本方針を以下のとおりとする。

【基本方針】

- ・施設の適切な維持管理
- ・広域化・共同化の推進
- ・経営基盤の安定化

2 業務の予定量

事 項	R 8	R 7	増 減
接 続 戸 数 (戸)	16,362	16,028	334
総 処 理 水 量 (m ³)	4,993,346	4,862,071	131,275
一 日 平 均 処 理 水 量 (m ³)	13,680	13,321	359

3 予算概要

(収益的収入及び支出)

(収 入)

第1款 下水道事業収益	2,982,248 千円
第1項 営業収益	737,120 千円
第2項 営業外収益	2,245,127 千円
第3項 特別利益	1 千円

(支 出)

第1款 下水道事業費用	2,745,728 千円
第1項 営業費用	2,491,546 千円
第2項 営業外費用	246,182 千円
第3項 特別損失	3,000 千円
第9項 予備費	5,000 千円

(資本的収入及び支出)

資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額925,368千円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額40,124千円、過年度分損益勘定留保資金522,484千円、当年度分損益勘定留保資金362,760千円で補てんするものとする。）。

(収 入)

第1款 資本的収入	1,607,327 千円
第1項 企業債	927,600 千円
第2項 他会計出資金	400,200 千円
第5項 国庫補助金	278,750 千円
第6項 分担金及び負担金	777 千円

(支 出)

第1款 資本的支出	2,532,695 千円
第1項 建設改良費	736,631 千円
第2項 固定資産購入費	428 千円
第3項 企業債償還金	1,795,636 千円